

## 温泉利用施設立入検査

### 【水質環境科】

県下の温泉の実態を把握し、資源の枯渇、衰退を防止して資源の適正利用を図るため、平成8年10月から平成9年3月にかけて215源泉(井戸水を含む)の立入検査を行い、そのうち204利用施設に

ついて泉温、湧出量、電気伝導度、塩素イオン、硬度などを測定した。調査結果をまとめたのが表のとおりである。

平成8年度温泉実態調査結果表

温泉地名	温泉別利用源泉数			泉温平均(°C)	湧出量(ℓ/min)	電気伝導度(μS/cm)	塩素イオン(mg/ℓ)	硬度(mg/ℓ)	主な泉質
	<25°C	25~42°C	42°C≤						
岩井	0	1	3	47.1	1,000	1,810	160	591	カルシウム・ナトリウム-硫酸塩泉
鳥取	0	1	14	45.6	994	4,170	827	320	ナトリウム-硫酸塩・塩化物泉
吉岡	0	1	3	52.7	891	540	69	40	単純泉
浜村	0	7	13	53.4	926	1,440	308	200	ナトリウム・カルシウム-塩化物・硫酸塩泉
鹿野	0	0	7	60.1	950	1,070	291	50	単純泉
羽合	0	1	6	55.5	1,941	2,230	682	310	ナトリウム・カルシウム-塩化物・硫酸塩泉
東郷	0	3	17	72.7	1,029	2,070	610	240	ナトリウム・カルシウム-塩化物・硫酸塩泉
三朝	0	21	53	52.0	1,993	1,145	313	70	単純放射能泉
関金	1	9	7	41.3	392	590	86	30	単純放射能泉
皆生	0	2	17	65.9	4,616	12,180	5,613	3,934	ナトリウム・カルシウム-塩化物泉
その他	2	14	0	32.0	1,521	3,033	1,077	784	
計	3	61	140	52.6	16,255				

- (注) 1 泉温、電気伝導度、塩素イオン、硬度は加重平均値  
 2 電気伝導度は20°Cにおける測定値  
 3 硬度はCaCO<sub>3</sub>に換算したもの